

川根本町の主な基金の内訳

年度間の財源調整や災害時に使います

● **財政調整基金** …… 9億 4,315 万円

特徴的な基金

人材育成・交流事業などのまちづくりのために使います

● **まちづくり基金** …… 2億 2,621 万円

まちの均衡ある発展・地域振興のために使います

● **地域振興基金** …… 12億 1,447 万円

地域福祉事業および福祉施設の充実のために使います

● **社会福祉基金** …… 3億 8,615 万円

その他の基金

簡易水道施設の更新・改善、町債償還のために使います

● **簡易水道事業基金** …… 2,588 万円

介護保険事業の健全かつ円滑な運営のために使います

● **介護給付費準備基金** …… 1億 3,312 万円

国民健康保険事業の健全な財政運営のために使います

● **国民健康保険事業基金** …… 1億 967 万円

Q 町の貯金はどれくらいあるの？

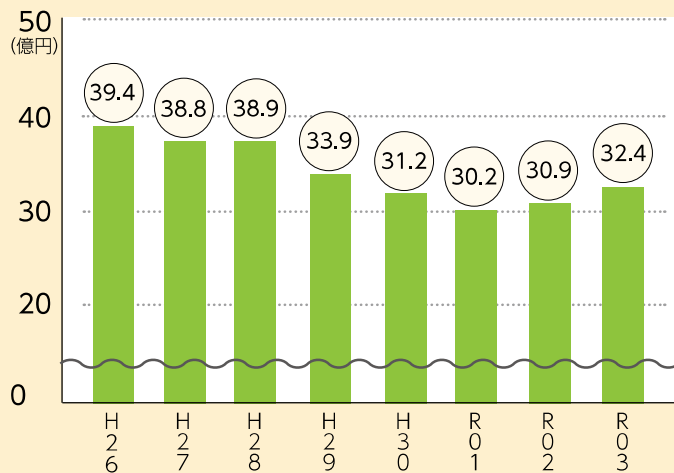


A ……
町民1人当たりの貯金は約53万円です

町の貯金は、「基金」と呼ばれています。基金には、年度間の財源調整や災害時の緊急的な対応などに使うために積み立てている「財政調整基金」と、特定の事業に使用する目的で積み立てている「特定目的基金」があります。

財政調整基金残高における令和3年度末残高は9億4,315万円。これを町民1人当たりに換算すると15万円3千円となります。

貯金の現在高の推移



令和元年 ⇒ 令和3年

約2億円増加

まちづくり基金や地域振興基金が貢献。町の借金を減らしながら、貯金を増やしています。



町民1人当たりの借金と貯金がどれくらいか分かりました。町民に負担をかけない財政運営に期待しています。

【問】総務課 財務管理室
☎ (56) 2220

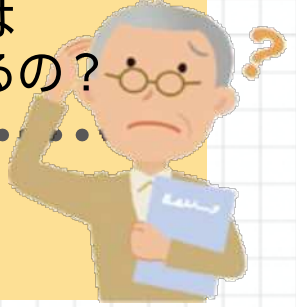


町は、令和元年度から3年度までの3年間で、約2億2千万円の貯金を増やしています。これは、地方交付税が見込みよりも多く交付されたことで、貯金の取り崩しをせずに済んだことが大きな要因です。

また、基金の多くを地方債などによる有利な運用をしていることで、利息などの運用益を多く得ていることも要因のひとつになっています。

貯金が増えた理由

Q 町の借金はどれくらいあるの？



A ……
平成28年から6年連続で減っています

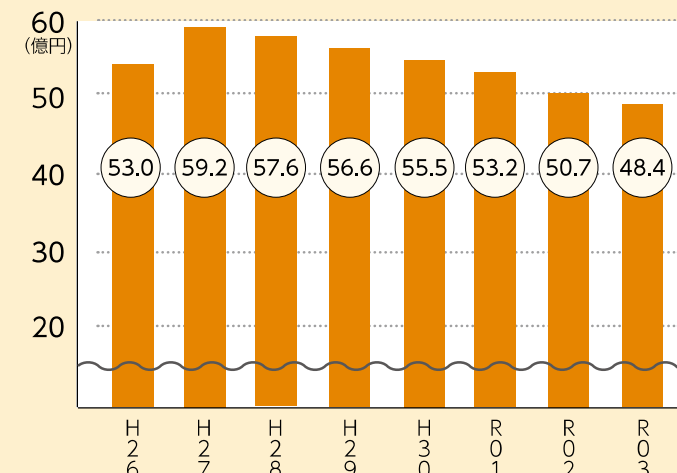
合併直後（平成17年度）には約65億円あった借金は、現在返済が進み、今年は約48億円となり、約17億円減少しています。

学校や水道、道路などの公共施設の整備のほか、教育や福祉などの公共サービスを維持するためには多額のお金が必要です。そのお金を1年間の収入だけで支払おうとすると他の事業ができなくなってしまう。町民の皆さんの負担を極力減らしながら、限られた財源や保有する資産を効果的に活用して、求められるニーズに応えていきます。

川根本町の借金は、令和3年度末で約48億円です。これを町民1人当たりになると、約79万1千円となります。（令和4年10月1日現在の人口で算出）

A ……
町民1人当たりの借金は約79万1千円です

借金の現在高の推移



平成27年 ⇒ 令和3年

約11億円減少

現在残っている借入れは、低利なものが多く、借金の返済分の7割以上を普通交付税で国が負担してくれる地方債が全体の90%を占めています。



平成27年度に、高度情報基盤整備事業といった大規模事業があったため、一時的に借入残高は増えましたが、以降は、毎年の借入額が返済額を下回る年度が続く、借金の残高は緩やかな減少傾向が続いています。

また、合併前の2町で借入れしていた借金の多くが完済されつつあることも理由のひとつとして挙げられます。

借金の現在高と実質負担

借金の種類によって、返済に際し「普通交付税措置」があります。これは、簡単にいうと国が借金の返済を負担してくれるという制度です。

令和3年度末の借金残高が48億円で、町民1人当たりの負担が79万1千円ですが、国が負担してくれる分を差し引くと、実質的には約10億3千万円となり、町民1人当たり約16万6千円となります。

**将来の借金について
もっと詳しく**